

形式：オンライン（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 1 3 0 m 1

【強い特許＝良い発明】とは限りません。明細書のまとめ方次第で強くも弱くもなるものです。本講座では、講師の特許庁や TLO での豊富な経験をベースに、強く拒絶され難い明細書の作り方と、拒絶理由への最善手（覆すポイント）を解説します。

## ～審査官の心理と思考を読んだ適切な書類作成・対応方法を解説～ 強い特許明細書の作成法と拒絶理由通知への対応ポイント

講師：山口大学 学長特命補佐／知的財産センター東京所長 弁理士 佐田 洋一郎 先生

紹介：1976 年より特許庁審査官（土木、建築、事務機器、農水産、応用光学）を担当。1996 年より、特許庁審査部審査長、審判部審判長、審判部部門長を歴任。2004 年山口大学教授 兼 知的財産部門長、2012 年山口大学研究推進機構知的財産センター長、2011 年学長特命補佐、2014 年山口ティール・オー代表取締役社長（兼任）を歴任。2019 年に知的財産センター東京所長、山口大学特命教授、学長特命補佐（知財戦略担当）に就任。大学における長年の産学連携活動、知財教育推進活動により、2023 年に全国発明表彰で発明奨励功労賞を受賞、2024 年秋の叙勲で瑞宝小授章を受章。現在に至る。

- 日程 2025 年 1 月 30 日（木） 13:00～17:00
- 受講料 36,300 円（税込） ※11/30（土）までにお申込の場合、**29,040 円（2 割引）**となります

### I. 1500 億円と 3000 人を投下して国が運用する産業財産権制度の狙い

1. 産業財産権制度の仕組み
2. 産業財産権を守る本当の意味

### II. 出願前に知っておきたい審査官の判断手法

1. 特許取得のための 3 + 1 の要件（補足：共同研究を考えている貴方に伝えたい大学の新規性を失いやすい環境）
2. 公開されていない審査の具体的手順

### III. 出願直前の準備作業

1. 発明のポイントは引き算の法則で
2. モノ、方法、製造方法の技術思想の選定法（補足：現場で意外と活かせる方法特許の効能）

### IV. 開発やモデルチェンジで活かせる足し算の法則

1. 特許性を高める足し算の法則とは
2. 足し算の進歩性判断の考え方
3. 発明の効果と進歩性の相関性（補足：足し算発明の典型的な成功例）

### V. 特許契約や技術導入に重要な強い特許、弱い特許の見極め方

1. 強い特許とはどんな特許
2. 強い特許、弱い特許の判別法

### VI. 強い特許明細書を作るノウハウ

1. 特許明細書が備えている広報機能、戦闘機能の活かし方
2. 特許強化の構成要素削減法、技術思想上位概念化法
3. 弁理士と二人三脚を（頼れる弁理士の見分け方）

### VII. 拒絶されにくい明細書作成法

1. 審査に臨む審査官の深層心理
2. 審査官、裁判官を説得する効果的ポイント
3. 審査官を前のめりにさせる明細書のまとめ方
4. 拒絶攻撃に強い明細書
5. 特許取得に有効な定性的異質の効果とは

### VIII. 拒絶攻撃を跳ね返す手法

1. 拒絶理由通知を発した審査官の本意を読み解く
2. 審査の行政効率上、意見書より補正書を重視
3. 失敗しない手続き補正書の作成法
4. 審査官面談で効果を得るための心得

### IX. すぐに実践できる製品開発に沿った知財ガードの構築法

1. 防衛体制の全体像と注意したい問題点
2. 知財ガードの実践的シミュレーション  
(1) モノの特許 (2) 製造方法の特許 (3) 方法の特許 (4) プログラム特許
3. ガード構築後の侵害者との実践演習

### X. 貴方の会社事業にも関連する IoT 関連発明の特許審査の考え方（具体的事例で分析）

1. 発明の成立性
2. 発明の新規性
3. 発明の進歩性
4. IoT 発明の明細書、請求範囲のまとめ方

### XI. 知財専門家も目からウロコの知財活用術

1. 収益が悪かった在庫製品の改善点を特許化で高収益
2. ガリバー企業マーケットに参入したベンチャーの巧みな特許戦略
3. 鳴かず飛ばずの既存製品に大学の研究成果を活かし差別化させて海外展開

### XII. 最後にお伝えしたいモノマネ排除に有効な「不正競争防止法」の活用術

#### ★補足資料★

1. 特許、実用新案、意匠、商標の事務処理フロー
2. PCT の誕生から現在までの図解による変遷
3. 特許の基本知識の総まとめ

#### <講師の言葉>

特許出願においては、情報収集がとても大切なのですが、疎かにしていませんか？発明が生まれると急いで出願書類をまとめて特許庁に提出し、そして拒絶理由通知が来ると慌てて対応する企業が多いのが実情です。本来は拒絶理由通知がきても、慌てずにその真意を見極め、引用文献を吟味して補正を行うべきですが、ただ意見書で自説を長々と述べて満足している出願人が少なくありません。忙しい審査官にとって、それらの主張の全てに耳を傾けている暇はありません。大切なのは、どう修正（補正）したかです。審査官はとにかく早く処理をしたいという心情であることを覚えておけば、対応法がわかります。その方法に則り補正すれば、審査官もなんとかしてあげられないかと思うようになるはずです。したがって、特許書類の作成は、独りよがりの作成は禁物で、会社として戦略を練り、審査官に味方になってもらえるような明細書作りを心がけることが重要です。本講座ではそのポイントをお伝えしますので、知財担当者、発明者（技術者・研究者）にとって有益な情報になると思います。

# <お申込要項>

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

<b>申込講座</b>	2025/1/30 強い特許明細書の作成法と拒絶理由通知への対応ポイント		
<b>会社名※</b>			
<b>所在地※</b> <small>(請求書等の送付先)</small>	〒		
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)</small>		
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>備考※</b>			

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
- ② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください  
 ※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

- ① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
- ② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		